

# 2019年度 第1回 常任幹事会議事録

## ●日時

2019年4月13日(土)  
15:00~17:00

## ●場所

阿佐ヶ谷美術専門学校 521教室

## ●出席者

秋元圭一 [会 長]  
小山 弘 [事務長]  
三好耕之 [常 任]  
西田一成 [常 任]  
桜井裕美 [常 任]  
白石龍子 [常 任]  
小山優子 [常 任]  
勝山昌幸 [常 任]  
山田直毅 [常 任]  
藤原成理 [常 任]  
石井育美 [会 員]

## ●委任欠席者

浜村圭一 [常 任] 西田  
大野美菜子 [常 任] 会長  
松岡和彦 [常 任] 藤原

(幹事14/27名 定足数成立)

## ●議事進行:

小山 弘

## ●議事録

書記:石田 [助 手]  
校正・制作・文責:秋元圭一、  
勝山昌幸、藤原成理、  
大村政幸、小山 弘

## ■議題1 「まんが計画6」について【資料1参照】

小山:今年度「まんが計画」の開催は11月4日~9日の予定です。  
これまでのテーマは「明るいテーマ」と「暗いテーマ」の交互で行ってきました。  
今回は暗い(ネガティブな)方の回で、テーマ「最後か!?!」に決定しました。  
前回参加者が29名でした。前回の参加人数を下まわったら今年度で終了ということで、このテーマにしました。前回より開催時期を遅くし、参加者を早めに募集して作品をゆっくりと制作してもらいたいと考えています。

藤原:今年度はアサビフェスタの時期が変更になって、10月19日~20日開催だと聞いています。「あさび新聞」の発行時期も昨年と変わっているので、同窓会ニュースが9月上旬だと、同時発送するとしたら間に合わないのではないのでしょうか。

秋元:「あさび新聞」の発行を昨年は1週間早めてもらいました。基本的にまんが計画を11月にすると、通常は9月最後の週に同窓会ニュースを発送できる予定です。

藤原:「あさび新聞」は9月3日に刷りあがる予定です。学校の方はその翌週には発送されます。学校で送る分はフェスタ開催の約1ヶ月前に送るので、あさび新聞担当の松岡先生と調整したほうが良いと思います。

秋元:同窓会ニュースにアサビフェスタ情報を載せたほうが良いと考えています。

藤原:それは良いと思います。私が気になっているのは学校発送の「あさび新聞」に同窓会ニュースを同封するかという点です。時期がずれると業者に保管してもらいう期間が長くなり調整が必要になります。昨年は松岡先生に依頼されたので、私が入稿時期の調整をさせてもらったが、本来の担当は松岡先生なので、事前に相談して調整したほうが良いと思います。

秋元:これまでに同窓会ニュースと「あさび新聞」の発行時期を合わせることはやってきませんでした。「あさび新聞」の発行スケジュールについて同窓会に知らされたことがありません。

藤原:学校で発送する予算で、同窓会ニュースを送っている分は無いですか。

秋元:ありません。

小山:今年も従来通りに行うということでよいでしょうか。

西田:同窓会ニュースに「あさび新聞」を入れて発送している分で、同窓会の全会員には行き渡っていますか。

小山：わかっている名簿の分の全員に送っています。ここ5年くらいは約3200名に発送しています。卒業生が増える分と、住所不明などで減っている分が毎年同じくらいです。

西田：「まんが計画」テーマについて質問です。出品者によってテーマの捉え方が自由だとすると、テーマが大きすぎるのでコンセプトについての説明が必要だと思います。テーマが漠然としていると漠然とした展示になってしまう気がします。

小山：これまでは参加者の捉え方は自由にしていました。今回も従来通りで良いと思いますが、別の企画を立ち上げてスタイルを変更しても良いと思っています。

### ■議題2 常任幹事会の年間スケジュールについて【資料2参照】

小山：今年度も常任幹事会は2か月に1回の開催を予定しています。今年度は10月～11月にアサビフェスタなど学校のイベントはありますが、同窓会として大きなイベントはないので、来年度に向けての企画があれば考えて行ければ良いと思います。

### ■議題3 選挙の中間報告

秋元：今回の選挙で、幹事の投票が40名（無効1名）ありました。得票数は546票で、7票以上得票した方を当選にしたいと考えています。

ここで確認したいことがあります、絵画科を卒業して幹事になった方が研究科に進学し、研究科を修了後に重複して研究科の幹事にもなっている方が1名います。絵画科の幹事として5票、研究科の幹事として6票で、合計11票の得票となります。個人的には合算して良いと考えていますがいかがでしょうか。

勝山：他の学年にも投票して合計しているので、合算して良いと思います。

山田：合算して良いと思いますが、同じ投票者が絵画科と研究家の両方でその方に投票していないかは確認してください。重複しているなら1票のみ有効としたほうが良いと思います。

秋元：1名が重複投票していたので、1票のみ有効とします。それでは、7票以上得票した方を当選とします。

#### [当選者]

土橋洋一・三好耕之・西田一成・秋元圭一・桜井裕美・甲斐光省・  
松岡和彦・白石龍子・角谷祥子・富澤和治・藤原成理・佐藤和可子・  
上村晴美・齋藤有紀・石井育美

藤原：辞退された方がいた場合は繰り上げ当選になりますか。

秋元：辞退の希望は受けていないので、当選者の発表には「常任幹事」として掲載させていただきます。もし、辞退希望者がいた場合も運営に支障がないように常任幹事の定数を29名に増やした経緯があります。

西田：選挙結果は役員に関係がないので、当選したことを書面で通知するだけになります。幹事を断りたい場合には選挙管理員に伝えることになります。

秋元：選挙用紙の中に「同数の場合には会長が決定する」という旨の内容を入れてあります。再確認して得票数に1～2票の差の出る可能性はあるが、今回は2019年当選の常任幹事はこの15名ということでやっていきたい。従来どおり辞退された場合も追加当選は出さないで進めます。

小山：同窓会名簿で初期の頃の同窓生と近年の卒業生は連絡がとれているが、中間（平成初期頃）の卒業生は連絡が取れない方が多く、若い方にも繋がっていないので、選挙の方法に限界を感じています。今後の選挙についてどう考えていくかみなさんからご意見をいただきたいと思います。【資料3参照】

秋元：投票用紙の6列のうち左側の2列、右の2列には連絡先不明者がいないのに、真ん中の2列の不明者が圧倒的に多くなっています。これが世代によって分断され、若い世代に繋がっていない原因の一つなのではないかと考えています。

藤原：学年ごとにはSNSなどで繋がっている同窓生も居るので、不明者を探していくことも必要ではないでしょうか。

小山：投票用紙でグレーで表記している方は住所がわかっていません。

秋元：住所がわかったら随時更新しています。

白石：選挙はこのままでも良いと思います。石井さんのように興味がある方に入ってもらえれば良いのではないのでしょうか。

秋元：投票する方は個々の会員がどういう人かわからない状態で投票しているので票が分散してしましますが、今回の投票では会長推薦とした石井さんが最高得票数となりました。また、投票用紙を見ていて、絵画科の人とか若い人、古い人などに偏って投票している人もいるということに気づきました。絵画科の人の投票が多いのは甲斐先生の声が届いているからなのか、他の科は人数が多いために選ぶ人を絞りきれないなどの理由があるのかもしれないと感じました。今回は208通を出して戻ってきたのは40通でした。前は42通だったので、幹事の数が増えていのに返信が減っていることになります。

三好：個人についての情報がないので、私は各科、年代からバランスよく入れるようにしました。幹事の方で年代別に推薦を出し、その推薦者から選ぶという方法もあると思います。

小山：選ばれた常任幹事が会議に参加し、同窓会の活動をしたいのかということに疑問もあります。

藤原：以前、松岡さんの提案で青年部をつくるという話が出ました。同窓会をやりたい人が若い世代から出てこない世代交代は出来ないと思います。選挙制度を変えなくても若い世代が出てくる工夫をできると思います。例えば、ここ数年の卒業生なら新入社員として現在やっていることを発表したり、同窓生同士が仕事のマッチングをするイベントなどを企画して同窓会に参加するきっかけづくりをしてみてもどうでしょう。

秋元：現在、学校にはそういった催しはありますか。

藤原：若い人がしごとを発表する催しはありません。ある程度実績があり、活躍している人のおしごと紹介は学生募集やフェスタ、卒展などで行っています。同窓会では学校と同じことをやるのではなく、若い世代が同窓会に参加するような企画をやっていくのが良いと思います。

秋元：以前は投票用紙に一部の人の自己アピールを載せていたことがあります。本当は幹事全員ににやってほしかったが、現実的には難しい面が大きいです。

白石：どんな人が参加してくれるのかは声をかけてみないとわかりません。現在の幹事の中にも同窓会で活動したいという人がいると思う。

桜井：「同窓会は楽しい」という発信をしていって、集まって来た人の中から常任幹事をやってみたいという人が出てくる、という形にしないとダメかなと思います。

西田：常任幹事会の議事録がアサビネットにアップされているが、見ている人がいるかどうかわかりません。私は顔がわかる人を優先して投票しています。選挙で選ばれた人に対して8月にある幹事会に「ぜひ来てほしい」という熱い思いを伝えるように工夫していかないといけないと思います。

勝山：選挙の仕組みは現状のままでも良いと思います。次回は2年後ですが、選挙制度以外のところで、活動を活性化するために推薦できる方をもっと増やせると良いと思います。

#### 「Slack」について【資料4参照】

勝山：SNSを使うことで若い人を取り入れやすくなると考えています。Slackを利用することで、学校まで来なくても話に参加できるので、それだけでも活性化すると思います。

小山（ゆ）：Slackに参加するというのは常任幹事の方が対象ですか。

勝山：積極的に参加してくれなら常任幹事以外の人を招待しても良いと思います。できるだけいろんな人を招待して、積極的に意見交換できる場にしたいです。

西田：例えば「幹事会」の窓口をつくったり、メッセージ的な機能を使うことはできるのでしょうか。

勝山：自分のメールアドレスを登録して利用します。議事録などを入れることもできます。「お知らせ」は設定次第でオフにもできます。

秋元：私は登録したが日常的に使っていないので、現状はあまり利用していないが、頻繁に使うようになれば活用するかもしれない。

西田：PDFやエクセルも共有できますか。

勝山：できます。データ容量は5ギガまで利用できます。

藤原：以前に新しいSNSでイメージクリエイションのコミュニティーを作ろうとした人がいたが、元々利用している人が少ないSNSだったために、広がらなかったことがありました。Facebookでもクローズのメンバーのコミュニティーが作れます。既存で使っている人が多いSNSのほうが無理なく広げられるのではないのでしょうか。

勝山：Facebookは苦手な方もいます。

西田：「常任幹事会」としてつくるのであれば、その中に「まんが計画」も入るのでしょうか。

勝山：「まんが計画」も入れることは可能で、見られたくない場合には入れる人を限定することができます。

西田：グループが増えると自分に関係ない連絡もくるようになります。そういうことが無いようにしてほしいです。

秋元：そのなかで個人情報の扱いもできるように進めていけたら良いと思います。

山田：そのSNSが若い人を惹きつけるというより、ツールとして便利だとしたら使っていくのは良いと思います。

藤原：新しいものに抵抗があるという人もいるので、広げていく役割をもたせられるかは今後の課題だと思います。

選挙方法に関しては、郵便で来たものを「手書きして投函する」というのに意外に手間がかかって、投票しない人も多いのではないのでしょうか。今後、QRコードから「投票サイト」にアクセスできるような選挙方法も考えていければと思います。

以上で議事は終了した。

**次回の開催予定：6月8日(土) 15:00~17:00 「常任幹事会」  
8月に「幹事会」**

## 【まんが計画⑥】について

### 開催日の変更

同窓会ニュースの発行に合わせて「開催日を少し先に変更してはどうか」とのご提案を頂き、今年10月14日～19日のから**11月4日～9日の開催**に変更いたします。これにより、全体に余裕をもったスケジュールに変更になりました。

### 今回のテーマ

前回お話しさせていただきました、ポジティブ・ネガティブのテーマによる参加者の変化に合わせ、今回は参加者が多くなる**「ネガティブ」**のテーマで進めます。

テーマは...



### スケジュールについて

2019年

03月31日	テーマ決定	09月15日	DM納品
05月24日	チラシ入稿	10月01日	原稿メ切
05月31日	チラシ納品	10月15日	入稿
06月07日	メンバー募集	10月19日～20日	アサビフェスタ
09月01日	メンバーメ切	11月02日	冊子納品・発送
09月12日	DM入稿	<b>11月04日～09日</b>	<b>開催</b>

2019年度 年間予定表												19/04/13現在								
3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	日	土	金	木	水	火	月
25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
4月1日	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4
22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
29	30	5月1日	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9
27	28	29	30	31	5月1日	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6
24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
7月1日	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4
22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
29	30	31	8月1日	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1
19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8
26	27	28	29	30	31	9月1日	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5
23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

平成31～34年度常任幹事選挙・投票用紙

※15名を選出し、その方の名前左欄に○をしてください。「継続」と表記のある方は選出しないでください。  
 又、辞退の方、グレー文字の方は住所不明で案内が送れないため、やはり選出しないでください。  
 平成31年3月30日(30日消印有効)までに同封の返信用封筒にて返送をお願いします。  
 なお、定数オーバー(15名以上)の選出、繰切り以降の投票、同窓会印の無い投票用紙は無効と致します。  
 同票得票者が複数でて定数オーバーになった場合は、常任幹事の意見を参考に会長が判断しますのでご了承下さい。

●中文字種  
 VD 10月1日以前卒業  
 CD 10月1日以後卒業  
 DD 10月1日以後卒業  
 TD 特別卒業  
 MD 特別卒業  
 ND CD 10月1日以後卒業  
 VD 10月1日以前卒業  
 CD 10月1日以後卒業  
 DD 10月1日以後卒業  
 TD 特別卒業  
 MD 特別卒業  
 ND CD 10月1日以後卒業  
 ●印  
 34～63 64～79 80～99

阿佐ヶ谷美術専門学校同窓会

34年度VD)		6年度SD)		5年度VD)		3年度CD)		20年度CD)
35年度VD)	●	6年度FA)		5年度VD)		3年度CD)		20年度SD)
36年度SD)		7年度VD)		5年度SD)		3年度CD)		20年度TD)
36年度SD)		57年度VD)		5年度SD)		3年度SD)		20年度IC)
37年度SD)		57年度SD)	●	5年度FA)		3年度DD)	●	20年度FA)
38年度VD)		7年度FA)		5年度IC)		13年度FA)		20年度AS)
39年度VD)	●	8年度VD)		6年度VD)		3年度IC)		21年度CD)
39年度SD)		8年度VD)		6年度VD)		4年度CD)		21年度CD)
40年度VD)		8年度SD)		6年度SD)		4年度CD)		21年度SD)
40年度VD)		8年度FA)		6年度SD)		14年度CD)		21年度TD)
40年度SD)	●	9年度VD)		6年度FA)		4年度CD)		21年度FA)
41年度VD)		9年度VD)		6年度IC)		4年度SD)		21年度IC)
41年度SD)		9年度SD)		7年度VD)		4年度DD)	●	21年度AS)
41年度夜間)		9年度FA)	●	7年度VD)		4年度FA)		22年度CD)
42年度VD)		0年度VD)		7年度SD)		4年度IC)		22年度CD)
42年度SD)		0年度VD)		7年度SD)		5年度CD)		22年度SD)
43年度VD)		0年度SD)	●	7年度FA)		5年度CD)		22年度MD)
43年度SD)		0年度FA)		7年度IC)		5年度CD)		22年度FA)
44年度VD)	●	1年度VD)		7年度IC)		15年度CD)		22年度IC)
44年度SD)		1年度VD)		7年度IC)		5年度SD)		22年度AS)
45年度VD)		1年度SD)		8年度SD)		5年度DD)		23年度VD)
45年度SD)	●	1年度FA)		8年度SD)		15年度FA)		23年度VD)
46年度VD)		2年度VD)		8年度FA)		5年度IC)		23年度SD)
46年度SD)	●	2年度VD)		8年度IC)		5年度CD)		23年度MD)
47年度VD)		2年度SD)		9年度VD)		6年度SD)		23年度FA)
47年度SD)	●	2年度FA)		9年度VD)		5年度DD)		23年度IC)
48年度VD)	●	3年度VD)		9年度SD)		6年度FA)		23年度AS)
48年度SD)		63年度VD)		9年度SD)		6年度FA)		24年度VD)
49年度VD)		3年度VD)		9年度DD)		16年度IC)		24年度VD)
49年度SD)		3年度SD)		9年度FA)		6年度AS)		24年度SD)
49年度FA)		3年度FA)		9年度IC)		17年度CD)		24年度MD)
50年度VD)		1年度VD)		10年度VD)		7年度CD)		24年度FA)
50年度SD)		1年度VD)		10年度VD)		7年度SD)		24年度IC)
50年度FA)		1年度SD)		10年度SD)	●	7年度DD)		24年度AS)
51年度VD)		1年度SD)		10年度SD)		7年度FA)		25年度VD)
51年度SD)	●	1年度FA)		10年度DD)		7年度IC)		25年度SD)
51年度FA)	●	2年度VD)		10年度FA)		7年度AS)		25年度MD)
52年度VD)		2年度VD)		10年度IC)		8年度CD)		25年度MD-CD)
52年度SD)		2年度VD)		11年度VD)		8年度CD)		25年度FA)
52年度FA)		2年度SD)		11年度VD)		8年度SD)		25年度IC)
53年度VD)	●	2年度SD)		11年度SD)		8年度TD)		25年度AS)
53年度SD)		2年度FA)		11年度SD)		18年度FA)		26年度VD)
53年度FA)		3年度VD)		11年度DD)		8年度IC)	●	26年度VD)
54年度VD)		3年度VD)		11年度FA)		18年度AS)		26年度CD)
54年度SD)		3年度SD)		11年度IC)		9年度CD)		26年度CD)
54年度FA)		3年度SD)		12年度CD)		9年度CD)		26年度FM)
55年度VD)	●	3年度FA)		12年度SD)		9年度SD)		26年度FA)
55年度SD)		4年度VD)		12年度SD)		9年度TD)		26年度IC)
55年度SD)	●	4年度VD)		12年度DD)		19年度FA)		26年度AS)
55年度FA)	●	4年度SD)		12年度FA)		9年度IC)		26年度AS)
56年度VD)		4年度SD)		12年度IC)		9年度AS)		
56年度VD)		4年度FA)		12年度IC)		0年度CD)		

●会長推薦  
 ●継続  
 52年度VD)

阿佐ヶ谷美術専門学校同窓会選挙管理委員会

## アサビ同窓幹事会のSlack導入について

### はじめに

- ・ TwitterやFacebook、LINEなどはコミュニケーションツールとして有用ですが、どれも不特定多数の人を相手にしています。
- ・ Slackはコミュニケーションが取りやすいSNSとしての利点を持ちながら、クローズドなメンバーでの使用を前提としています。

### 概要① ワークスペース

- ・ Slackの中に「ワークスペース」と呼ばれるものがあります。これがクローズドなメンバーの集まりです。
- ・ 現在、試用しているワークスペースは「ASABI-DO」になります。(asabi-do.slack.com)
- ・ ワークスペースに参加するためには、特定の条件(招待状がある、同じ会社のメールアドレスである等)が必要です。

### 概要② チャンネル

- ・ ワークスペースに参加すると、#で始まる「チャンネル」があります。
- ・ チャンネルは、話題に応じて自由に作成(またはアーカイブ)することができます。
  - ・ アサビ同窓会の場合、例えば「まんが計画」や「新Webサイト企画」「同窓会青年会議」などのチャンネルを設ければ、隔月の会議以外に、継続的に話し合うことができます。
- ・ チャンネルの種類として「公開」「非公開」の2種類があります。
  - ・ 公開されたチャンネル(一般のチャンネル)には、誰でも「チャンネルに参加する」を選んで参加できます。
  - ・ 名簿管理など守秘義務のあるものは「非公開」にすることで、参加メンバーを限定できます。
- ・ #generalチャンネルは、ワークスペースに参加すると必ず入る、ロビーのような場所です。

### 概要③ ファイル共有

- ・ 無料プランでは、ワークスペース全体で5GBまでファイルを共有できます。
- ・ ファイルの受け渡しに使う以外に、議事録や会則のアーカイブチャンネルを作っても便利です。

### その他の利点など

- ・ WEBブラウザ上で利用する以外に、Mac OS、Windows、iOS、Android版の無料アプリがあります。
- ・ スマートフォンにアプリ版をインストールしておくと、通知が来たり、SNS的に使えるので便利です。
- ・ ワークスペース参加者の個人宛に「ダイレクトメッセージ」を送ることもできます。

### ■ ASABI-DOへの参加方法

- ・ ①30日間有効の共有リンク(短縮URL)
  - ・ 
  - ・ ブラウザで上記URLを入力して手順に従ってください。
  - ・ Slackのアカウントがない人は同時に作成します(無料)。
  - ・ ワークスペースに参加後、自分で使いやすいアプリを入れるとよいです。
- ・ ②勝山宛て(masa@extc.co.jp)に「参加希望」のメールを送信していただければ、個別に招待状を発行します。
  - ・ 招待状発行後の手順は上記と同じです。
- ・ その他にもさまざまな機能がありますが、基本的な機能でも十分に便利だと思います。